

横浜で環境活動に取り組んでいる皆さま

横浜環境活動賞制度は、平成5年度から始まり、令和4年度の今回で、ちょうど第30回目を迎えます。これまで359者が受賞されてきた歴史のある表彰制度です。

この30年の間に、「脱炭素」や「SDGs」の拡がりなど、「環境」を取り巻く状況は大きく変化しました。

「環境活動」の内容も年々多様化し、近年は、環境問題に特化しているものにとどまらず、複合的なものも多く見られます。また、ここ数年のコロナ禍の影響を受けて、活動自体のあり方も変容しています。

特に、企業活動においては、今や、環境への配慮は社会経済の要請になってきています。

そのような時代の変化の中で、毎年の審査委員会において様々な経歴を持つ委員が集まり議論を重ねてきたところですが、このたび、第30回の節目にあたり、制度のあり方、審査基準等について改めて議論をしました。

今回は、応募様式や審査方法もいくつか見直しをするとともに、第27回以来3年ぶりのプレゼンテーションを実施し、皆様の活動への思いなどを直接お聞きすることも予定しています。

この横浜環境活動賞制度を通して、横浜に活動の輪が広がり、横浜の環境保全・再生・創造へとつながり、将来にわたり横浜市民の生活が豊かであることを願っています。

その一端を担うことが審査委員会の責務であり喜びでもあります。

審査委員一同 皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

令和4年11月吉日

横浜環境活動賞審査委員会  
委員長 戸川 孝則